

マーケットの動き（2024年7月22日～7月26日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で下落（円高）しました。

FRB（米国連邦準備制度理事会）が9月にも利下げを開始するとの観測に加え、日銀の追加利上げへの観測が強まったことにより日米金利差縮小が意識され、円買い・米ドル売りが優勢となりました。約2か月半ぶりに一時151円台後半を付けた後、週末にかけて153円台横ばい圏で推移しました。

ユーロは前週末比、対円・対米ドルで下落しました。

投資環境見通し（2024年7月）

円に対して米ドル、ユーロともにレンジ内での動き

米ドル：日米実質金利差といった構造的な円安圧力が残る一方、米国における景気減速の兆しに加え、円安ドル高がさらに進む場面では日本政府・日銀による円買い介入も意識されやすいことから、ドルは円に対してレンジ内で推移するとみています。

ユーロ：ECB（欧州中央銀行）の利下げ開始が域内景気の浮揚につながるとの見方がありますが、欧州地域における政治的な先行き不透明感もあり、ユーロは円に対してレンジ内で推移するとみています。

	7月26日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	153.54	▲3.80	▲7.08	5.45	13.15
ユーロ/円	166.68	▲4.66	▲4.88	5.82	11.36

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

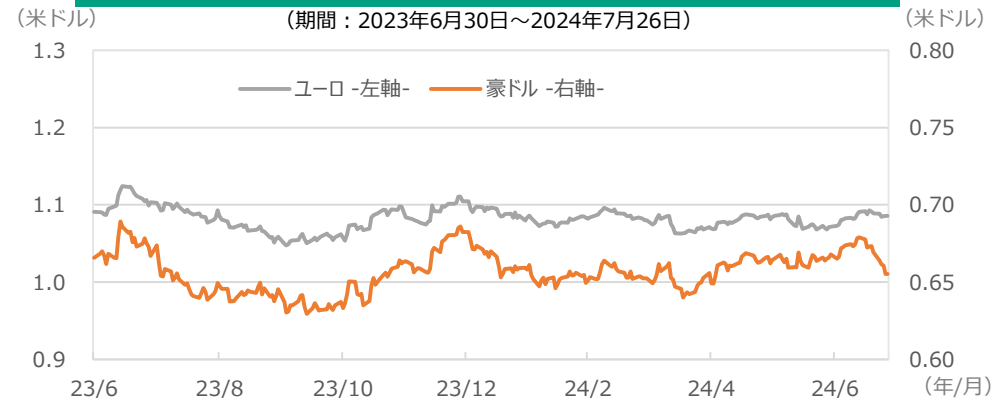
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202407_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>